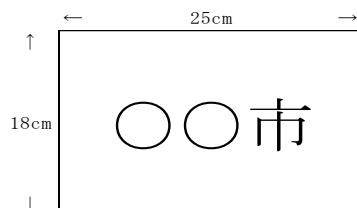


# バドミントン競技

- 1 期 日 令和6年9月22日(日)
- 2 会 場 桂川町総合体育館、福岡県立嘉穂総合高等学校(壮年男女、壮年混成男女)  
直方市体育館(一般男女)  
小竹町立小竹中学校(青年、障がい者)
- 3 実施要項
  - (1) 種 別  
一般男子、一般女子、壮年男子、壮年女子、青年の部、壮年混成男女の部
  - (2) チーム編成  
一般男子・・・1チーム監督1名、選手6名以内  
監督は選手と兼ねることができる  
郡市単位、政令市は区単位で編成  
一般女子・・・1チーム監督1名、選手7名以内  
監督は選手と兼ねることができる  
郡市単位、政令市は区単位で編成  
壮年男女・・・1チーム監督1名、選手7名以内  
監督は選手と兼ねることができる  
郡市単位で編成  
青 年・・・1チーム監督1名、選手男女各3名  
監督は選手と兼ねることができる  
郡市単位、政令市は区単位で編成  
壮年混成男女・・・1チーム監督1名、選手男女各3名  
監督は選手と兼ねることができる  
郡市単位で編成
  - (3) 競技方法  
ア 一般男女の部、壮年男女の部、壮年混成男女の部・・・パート別トーナメント式  
青年の部・・・トーナメント式  
イ 一般男子の部の試合順は、複・複・単で行い、同一選手が1対抗戦中重複して出場することはできない。  
ウ 一般女子、壮年男子、壮年女子の部は、複の3試合とし、同一選手が1対抗戦中重複して出場することはできない。なお、大会当日、選手が6名そろわず複の3試合が行えない場合でも、4名以上であれば大会に参加できる。その場合、団体試合は第一複の1敗から始まる。初回戦では、残り2試合を終えた後、正式人数側が承諾すればオープン試合をして良い。  
エ 青年・壮年混成男女の部は、女子複・男子複・混合複の順で行い、その内2試合を得た方が勝ちとする。なお、混合複は重複出場もできる。  
オ 初回戦のみ全試合行う。
  - (4) 競技規則  
令和6年度(公財)日本バドミントン協会競技規則、同大会運営規程及び同公認審判員規程による。  
なお、得点については、シングルス・ダブルスともに1ゲーム21点、2ゲーム先取の3ゲームマッチとする。※延長(30点)あり。
  - (5) 試合シャトル  
令和6年度(公財)日本バドミントン協会検定合格水鳥球(ヨネックスF80・ニューオフィシャル)シャトルを使用する。
  - (6) 注意事項  
ア 服装は、(公財)日本バドミントン協会大会運営規程によるものとする。  
イ 背面プリントまたはゼッケン(白布に黒字)で郡市名を明記すること。  
ウ 監督が選手を兼ねて出場する場合は選手の欄にも名前を記入すること。  
エ 体温が37℃以上、もしくは体調に異変を感じた時には参加を中止すること。

(例)



## ■バドミントン競技（障がい者の部）

1 期 日 令和6年9月22日（日）

2 会 場 小竹町立小竹中学校

### 3 実施要項

(1) 種 別

車いすの部、立位の部（身体、知的、精神）

(2) 参加資格

県内在中のバドミントン愛好者（車いすの部のみ健常者参加可）

※競技用車いすの貸し出し可

(3) 競技方法

車いす、立位（身体・知的・精神）の障がい区分ごとにシングルスリーグ戦を行う。

※参加状況により、立位の部はクラスを統合する場合がございます。

(4) 競技規則

ア 令和6年度（公財）日本バドミントン協会競技規則、大会運営規程及び公認審判規程による。

なお、勝敗については21点マッチ2ゲーム先取とする。打ち切りで延長なし。

イ 令和6年度（公財）日本バドミントン協会検定合格水鳥球シャトルを使用する。

ウ 順位については、リーグ戦を行い、勝敗→得失点差の順位を決定する。各部において決勝トーナメントを行い、順位を決定する。3位決定戦は行わない。

(5) 表 彰

各部において、1位から3位までを表彰する。

(6) そ の 他

ア 本試合は健常者も原則車いすの部での出場を認める。

イ 競技車、義足、その他のサポート器具に関して規定を定めないが、試合での安全については最善の注意を図る。

### 4 参加申込

(1) 申 込 先

（一社）福岡県障がい者スポーツ協会（担当者：染谷）

〒816-0804 春日市原町3丁目1番7

TEL：092-582-5223 FAX：092-582-5228

E-mail：sometani@f-psa.jp

(2) 申込締切日

令和6年7月30日（火）

### 5 参加料 無料